

定住自立圏構想
中心市宣言書

平成21年3月9日

鳥取県倉吉市

倉吉市定住自立圏中心市宣言

国立社会保障・人口問題研究所では、わが国の総人口について、2005年（平成17年）時点の1億2,777万人をピークに、今後は減少に転じ、長期にわたる減少局面を経験していくとの見方を示しています。将来人口推計によれば、2030年（平成42年）の1億1,522万人を経て、2046年（平成58年）には1億人を割って9,938万人となると推計されているところであり、今後の少子・超高齢化、人口減少社会の到来に向けた対応は全国的な課題となっています。

このような状況にあって、本市と近接する三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町の4町も含め、地方圏においては、人口の流出による人口減少が見込まれていることから、この流れを食い止め、また、三大都市圏から本圏域への人の流れを創出し、もって地域の住民が安心して暮らせる持続可能な社会、圏域を形成することが非常に大切となります。

本市は、鳥取県の中央に位置しており、税務署、公共職業安定所、法務局などの国の行政機関や児童相談所、鳥取県中部総合事務所、警察署などの県の行政機関、中核的な医療施設、商店街や集積する商業施設、また、本市を発着点とする広域的交通拠点、高等学校、専門学校、短期大学、図書館を始めとする教育・文化施設など、既に都市機能において一定の集積があり、都市間交流や日常生活を支える機能の更なる充実に取り組んでいるところです。

また、近接する4町から本市には、通勤、通学において一定割合以上の住民の移動があり、本市はこの地域内で、経済、医療、教育文化など地域の住民生活などにおいて中心的な役割を担うとともに、地域の発展のため広域・域内交通網の整備、特産化をめざす産業地域の形成、観光資源の開発及び基盤の整備、情報・交流基盤の整備、人材発掘・育成・活用など共通する課題解決のための取組みを進めており、今後も地域の住民と地域の持ち合わせる特性や魅力を一層磨き上げることが地域全体の活性化、地域づくりや定住促進の基盤となります。

このためにも、中心市である本市には多様な日常生活を活性化するための中心市街地の充実と交流と賑わいの確保による中心都市機能の充実が求められています。また、近接する4町では人・物の活発な移動を促す交通網の充実や豊かな地域資源を活用した地場産業や多様な人が行きかい住民の活力を生む交流環境の創造、快適な生活環境や地域固有の文化を育み魅力ある定住の場を確保する必要があり、そのためには、各地域で生活に必要な機能の確保と自立を促す施策、全体として魅力ある地域を形成するための「集約とネットワーク」による施策の展開が不可欠です。

本市は、定住自立圏の形成を目指す中心市として定住自立圏の構築を掲げ、近接する4町を始め、人口定住のため連携する意思を有する自治体などとともに、結び付きと機能の強化により関係を緊密にし、共通課題の解決を図り、地域全体の維持・発展に向け、さらに積極的な各種サービスを提供していくことにより、安心して暮らせる圏域の形成、均衡ある発展と一体化を目指すことを市内外に向け宣言するものです。

平成21年3月9日

鳥取県倉吉市長 **長谷川 稔**

定住自立圏形成の背景と取り組み

地方分権社会では、住民に一番身近な市町村の役割が非常に重要であることから、より効率的な広域行政を行なっていくために市町村合併が進み、新しい地方に向けて自らのあり方を前向きに見直ししていくことが求められている。しかし、行財政運営の現状は、効果的、効率的な運営を行なうことで基礎自治体の体力を辛うじて維持しているものの、経済不況による税収の減少、数次の経済対策による借入金残高の急増など、大変厳しい財政状況が常態化しているのが現状である。

このような状況にあつて、本市を中心とした鳥取県中部の自治体では鳥取中部ふるさと広域連合のもと、一体的な生活圏域として、共通した課題の解決に当たってきた。この定住自立圏構想では本市と各自治体の個別の課題について、きめ細かく連携することで課題解決を図ることとなる。

中心市となる本市と周辺自治体に居住する住民の生活機能を確保し、地域の魅力を向上させていくための基盤となる都市機能の集積状況及び連携・交流の状況、また、「集約とネットワーク」「一体的な整備と維持」の考え方により展開しようとする取り組みは以下のとおりである。

1. 倉吉市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、商業・娯楽機能、教育・文化機能、その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は概ね以下のとおりであり、定住自立圏を形成する中心地域としての機能が確保されている。

	定住自立圏の目指すべき都市施設	施設名	摘要・定義
医療・福祉機能	総合病院	厚生病院、野島病院	100床以上
	救急病院(2次救急)	厚生病院、野島病院、藤井政雄記念病院、信生病院、垣田病院、清水病院、北岡病院、倉吉病院	
	休日夜間診療輪番制	厚生病院、野島病院、藤井政雄記念病院、信生病院、垣田病院、清水病院、北岡病院	
	特別養護老人ホーム	ル・ソラリオン、倉吉スターロイヤル、巖城はごろも苑	
	老人保健施設	ル・サンテリオ、うつぶき、のじま、ひまわり	
	高齢者グループホーム	いわきの里、しみず苑、ひまわり昭和町、ひまわり関金、みのり、つばさ	
	高齢者福祉施設	伯耆しあわせの郷、高齢者生活福祉センター、老人福祉センター	
	保育施設	上北条保育園、上井保育園、あゆみ保育園、ひかり保育園、倉吉東保育園、西郷保育園、ババール園、うつぶき保育園、どんぐり保育園、倉吉愛児園、めぐみ保育園、倉吉西保育園、ひまわり保育園、灘手保育園、社保園、みのり保育園、向山保育園、北谷保育園、高城保育園、小鴨保育園、西倉吉保育園、上小鴨保育園、関金保育園、山守保育園	市立11園 私立13園
	放課後児童クラブ	ポプラ学級、高城児童クラブ、明倫児童クラブ、北谷児童クラブ、小鴨児童クラブ、関金児童クラブ、山守児童クラブ、ぶるーむ学級、倉吉東児童クラブ、みのりクラブ、めぐみの園、上北条児童クラブ、灘手児童クラブ、上小鴨児童クラブ、社児童クラブ	市立7園 私立8園
	子育て支援センター	倉吉子育て総合支援センター、ババール園地域子育て支援センター、のびのび子育て支援センター、小鴨保育園地域子育て支援センター、関金保育園地域子育て支援センター	市立3園 私立2園
児童相談所	倉吉児童相談所		
教育機能	大学	鳥取短期大学、農業大学校	
	各種専門学校	倉吉看護高等専修学校、倉吉女子洋裁専修学校、倉吉総合看護専門学校、保育専門学校、倉吉高等技術専門学校	
	高校	倉吉東高校、倉吉西高校、倉吉総合産業高校、倉吉農業高校、倉吉北高校、倉吉養護学校高等部	県立5校 私立1校
	幼稚園	倉吉幼稚園、聖テレジア幼稚園、鳥取短期大学付属幼稚園	
	予備校・進学塾	倉吉予備校、代ゼミサテライン予備校	
	英会話学校	キャンウェイイングリッシュスクール、倉吉イングリッシュ、ワールド学院	
消費・金融機能	商店街	上井商工連盟、倉吉銀座商店街振興組合、打吹商店会	
	大型家電量販店	100満ポルト、デオデオ、ベスト電器、ニューウェーブテレビ館	
	大型ショッピングセンター	倉吉パルタタウン、ハウジングランドいない	
	スーパー	東宝ストア6店舗、新あじそ、丸合2店舗、スーパーMARUWA、マルイ、Sマート、Aコープ	
	銀行	山陰合同銀行4店舗、鳥取銀行4店舗、島根銀行、中国労働金庫、倉吉信用金庫6店舗、鳥取信用金庫、ゆうちょ銀行	
	消費者生活センター	消費生活センター中部消費生活相談室	
情報・娯楽・文化・スポーツ機能	都市型CATV	日本海ケーブルネットワーク	
	博物館	倉吉博物館	
	大型文化ホール	倉吉未来中心	
	図書館	倉吉市立図書館	
	映画館	シネマエポック1. 2. 3	
	スポーツ施設	陸上競技場、テニス場、射撃場、野球場、ラグビー場、体育文化会館、温水プール	
	公園	打吹公園	
	大型遊具付き公園	倉吉パークスクエア多目的広場	
交通機能	鉄道駅	倉吉駅	スーパーはくと は発着駅
	長距離バス	倉吉⇄神戸・大阪 倉吉⇄東京 倉吉⇄広島 倉吉⇄岡山 倉吉⇄福岡	
	航空アクセスバス	倉吉⇄鳥取空港	
	自動車教習所	鳥取県自動車学校、鳥取県中央自動車学校	
	バスターミナル	倉吉バスセンター	

2. 周辺自治体住民の本市都市機能の利用状況

次の表のとおり、周辺自治体の住民も本市に集積された都市機能を活用している状況がある。本市がこの地域で経済、福祉、文化など住民生活等において中心的な役割を担うなど周辺自治体とは密接な関係にある。

(1) 医療機関

① 病院（病床数20床以上の病院 9施設における住所地別診療者数）

	外 来 (人)	内 割 合 (%)	外 割 合 (%)	入 院 (人)	内 割 合 (%)	外 割 合 (%)
三 朝 町	23,133	5.8	5.4	10,285	4.7	4.4
湯 梨 浜 町	66,461	16.7	15.6	35,029	16.1	14.9
琴 浦 町	37,743	9.5	8.9	32,093	14.7	13.6
北 栄 町	49,252	12.4	11.6	29,633	13.6	12.6
周辺自治体 計	176,589	44.4	41.4	107,040	49.1	45.5
倉 吉 市	221,501	55.6	52.0	110,991	50.9	47.2
圏 域 計	398,090	100.0	93.4	218,031	100.0	92.7
圏 域 外	28,014	—	6.6	17,094	—	7.3
合 計	426,104	—	100.0	235,125	—	100.0

※平成19年4月～20年3月、延べ人数（各施設調査）

② 休日急患診療（中部休日診療所における診療者数）

	診療者数 (人)	内 割 合 (%)	外 割 合 (%)
三 朝 町	47	4.5	4.2
湯 梨 浜 町	137	13.3	12.3
琴 浦 町	125	12.1	11.1
北 栄 町	137	13.3	12.3
周辺自治体 計	446	43.2	39.9
倉 吉 市	587	56.8	52.5
圏 域 計	1,033	100.0	92.4
圏 域 外	85	—	7.6
合 計	1,118	—	100.0

※平成19年度（市保健センター）

③ 小児休日急患診療（県立厚生病院における診療者数）

	診療者数 (人)	内 割 合 (%)	外 割 合 (%)
三 朝 町	52	5.9	5.2
湯 梨 浜 町	160	18.1	16.1
琴 浦 町	111	12.5	11.1
北 栄 町	134	15.1	13.5
周辺自治体 計	457	51.6	45.9
倉 吉 市	429	48.4	43.1
圏 域 計	886	100.0	89.0
圏 域 外	110	—	11.0
合 計	996	—	100

※平成19年度（市保健センター）

④ 歯科休日急患診療（鳥取県中部口腔衛生センターにおける診療者数）

	診療者数 (人)	内 割 合 (%)	外 割 合 (%)
三 朝 町	16	6.7	5.9
湯 梨 浜 町	41	17.1	15.1
琴 浦 町	25	10.4	9.3
北 栄 町	41	17.1	15.1
周辺自治体 計	123	51.3	45.4
倉 吉 市	117	48.7	43.2
圏 域 計	240	100.0	88.6
圏 域 外	31	—	11.4
合 計	271	—	100.0

※平成19年度（市保健センター）

(2) 教育施設

① 幼稚園（ 私立3園における住所地別園児数 ）

	園児数（人）	割合（％）
三 朝 町	5	1.8
湯 梨 浜 町	8	2.9
琴 浦 町	2	0.7
北 栄 町	11	4.0
周辺自治体 計	26	9.4
倉 吉 市	249	90.6
圏 域 計	275	100.0

※平成20年5月1日在籍の園児（各施設調査）

② 専修学校（ 保育、看護 2施設における出身地別学生数 ）

	在籍者数（人）	内割合（％）	外割合（％）
三 朝 町	3	3.9	1.5
湯 梨 浜 町	10	13.2	4.8
琴 浦 町	8	10.5	3.9
北 栄 町	10	13.2	4.8
周辺自治体 計	31	40.8	15.0
倉 吉 市	45	59.2	21.7
圏 域 計	76	100.0	36.7
圏 域 外	131	—	63.3
合 計	207	—	100.0

※平成21年2月現在 在籍者の出身地別（各施設調査）

③ 短期大学（ 鳥取短期大学における出身地別学生数 ）

	在籍者数（人）	内割合（％）	外割合（％）
三 朝 町	7	5.9	1.1
湯 梨 浜 町	16	13.6	2.7
琴 浦 町	15	12.7	2.5
北 栄 町	16	13.6	2.7
周辺自治体 計	54	45.8	9.0
倉 吉 市	64	54.2	10.7
圏 域 計	118	100.0	19.7
圏 域 外	480	—	80.3
合 計	598	—	100.0

※平成20年5月1日現在 在籍者の出身地（施設調査）

(3) 文化施設

① 図書館（ 市立図書館利用者カード発行数 ）

	枚 数（枚）	内割合（％）	外割合（％）
三 朝 町	1,059	3.9	3.8
湯 梨 浜 町	2,774	10.3	9.9
琴 浦 町	888	3.3	3.1
北 栄 町	2,022	7.5	7.2
周辺自治体 計	6,743	25.0	24.0
倉 吉 市	20,205	75.0	71.8
圏 域 計	26,948	100.0	95.8
圏 域 外	1,185	—	4.2
合 計	28,133	—	100.0

※平成19年度末延べ発行枚数（市図書館）

② 生涯学習施設（交流プラザ利用者数）

	利用者数（人）	内割合（％）	外割合（％）
三朝町	562	2.1	1.9
湯梨浜町	699	2.6	2.4
琴浦町	172	0.6	0.6
北栄町	1,009	3.8	3.4
周辺自治体計	2,442	9.1	8.3
倉吉市	24,301	90.9	82.8
圏域計	26,743	100.0	91.1
圏域外	2,628	—	8.9
合計	29,371	—	100.0

※平成19年度述べ利用者数（市図書館）

③ 大型文化施設（倉吉未来中心利用件数）

	利用件数（件）	内割合（％）
三朝町	40	2.6
湯梨浜町	87	5.6
琴浦町	60	3.8
北栄町	73	4.7
周辺自治体計	260	16.7
倉吉市	1,299	83.3
圏域計	1,559	100.0

※平成19年度利用件数；利用申請者の住所地による集計（市市民参画課）

(4) 福祉施設

① 保育所（公私立24施設における広域入所園児数）

	本市への広域入所児童数（人） A	内割合（％）	外割合（％）	保育実施児童数（人） B	本市への広域入所割合（％） A/B
三朝町	36	21.3	19.5	270	13.3
湯梨浜町	75	44.4	40.8	660	11.2
琴浦町	13	7.7	7.1	709	1.8
北栄町	45	26.6	24.4	523	8.6
周辺自治体計	169	100.0	91.8	2,162	7.8
倉吉市	—	—	—	—	—
圏域計	169	100.0	91.8	—	—
圏域外	15	—	8.2	—	—
合計	184	—	100.0	—	—

※平成21年1月1日在籍 広域入所園児数（市子ども家庭課）

※本市保育所入所児童数1,857人、広域入所児童数（4町）169人 割合は9.1%となる。

② 子育て支援センター（倉吉市子育て総合支援センター利用者数）

	利用者数（人）	内割合（％）	外割合（％）
三朝町	56	0.6	0.6
湯梨浜町	354	3.9	3.9
琴浦町	0	0.0	0.0
北栄町	59	0.7	0.7
周辺自治体計	469	5.2	5.2
倉吉市	8,556	94.8	94.7
圏域計	9,025	100.0	99.9
圏域外	8	—	0.1
合計	9,033	—	100.0

※平成19年度実績（市子ども家庭課）

③ 高齢者福祉施設

	介護保険施設			養護老人ホーム			ケアハウス		
	利用者 (人)	内割合 (%)	外割合 (%)	利用者 (人)	内割合 (%)	外割合 (%)	利用者 (人)	内割合 (%)	外割合 (%)
三朝町	38	4.6	4.3	1	2.1	2.1	9	7.0	6.1
湯梨浜町	102	12.3	11.5	2	4.3	4.1	20	15.5	13.5
琴浦町	37	4.4	4.2	0	0.0	0.0	1	0.8	0.7
北栄町	67	8.1	7.5	0	0.0	0.0	6	4.6	4.1
周辺自治体計	244	29.4	27.5	3	6.4	6.2	36	27.9	24.4
倉吉市	586	70.6	65.9	44	93.6	91.7	93	72.1	62.8
圏域計	830	100.0	93.4	47	100.0	97.9	129	100.0	87.2
圏域外	59	—	6.6	1	—	2.1	19	—	12.8
合計	889	—	100.0	48	—	100.0	148	—	100.0

※平成21年2月現在（各施設調査）

(5) 商業施設

① 大型ショッピングセンター（ポイントカード発行件数）

	発行件数（件）	内割合（%）	外割合（%）
三朝町	2,572	7.9	7.0
湯梨浜町	6,386	19.5	17.4
琴浦町	2,481	7.6	6.8
北栄町	4,544	13.9	12.4
周辺自治体計	15,983	48.9	43.6
倉吉市	16,725	51.1	45.7
圏域計	32,708	100.0	89.3
圏域外	3,912	—	10.7
合計	36,620	—	100.0

※平成21年2月現在 稼動中カード（過去2年間に1回以上利用のあったカード）（施設調査）

② 購買特性、商圈動向（圏域4町の住民による購買状況）（%）

	食料品 (一般、 生鮮)	日用雑 貨	医薬品 化粧品	肌着 シャツ 普段着	婦人服	くつ 加パン バッグ	時計 メガネ アクセサリ	家具 家電
本市流入	28.9	45.1	54.8	51.3	49.4	49.4	62.3	59.9
地元購買	69.6	50.8	38.6	30.0	21.3	16.0	11.7	28.4
圏域外流出	1.5	4.1	6.6	18.7	29.3	34.6	26.0	11.7

※平成16年度「鳥取県消費者購買トレンドリサーチ事業報告書」

(6) 交通

① 生活路線バス（市内を起終点とする広域路線バス便数）

		市内を通過する 路線バス		備考
		便数(便)	割合(%)	
	三朝町	76	24.5	
	湯梨浜町	48	15.5	旧羽合町行 33 旧東郷町行 15
	琴浦町	28	9.0	旧赤碓町行
	北栄町	24	7.7	琴浦町行は北栄町通過 旧北条町行 18 旧大栄町行 6
周辺自治体計		176	56.8	
倉吉市		134	43.2	
	内旧関金町	43	13.9	
圏域計		310	100.0	

※平成 20 年 10 月 1 日現在（バス会社時刻表）

(7) 事業所

① 製造業立地状況（従業員 4 人以上の事業所）

		事業所数 (件)		製造品出荷額 (千万円)	
		件数	割合	金額	割合
	三朝町	11	4.9	292	1.9
	湯梨浜町	22	9.9	647	4.3
	琴浦町	36	16.1	3,717	24.6
	北栄町	39	17.5	1,236	8.2
周辺自治体計		108	48.4	5,892	39.0
倉吉市		115	51.6	9,207	61.0
圏域計		223	100.0	15,099	100.0

※平成 19 年工業統計調査

② 商業立地状況；（小売業）

		事業所数 (件)		年間商品販売額 (千万円)		売場面積 (㎡)	
		件数	割合	金額	割合	面積	割合
	三朝町	62	4.5	283	2.5	3,912	2.5
	湯梨浜町	163	12.0	1,135	10.1	18,328	11.6
	琴浦町	210	15.4	1,834	16.2	29,171	18.5
	北栄町	151	11.1	1,125	10.0	8,966	5.7
周辺自治体計		586	43.0	4,377	38.8	60,377	38.3
倉吉市		776	57.0	6,917	61.2	97,265	61.7
圏域計		1,362	100.0	11,294	100.0	157,642	100.0

※平成 19 年商業統計調査

3. 周辺自治体と連携することを想定する取組

本市を中心とする鳥取県中部地区は、4つの温泉を擁し、県内でも有数の滞在拠点である。この資源を始め観光資源や豊かで変化のある自然資源、文化、特産品などを有機的に利用し、地域の魅力や地域力を高めていくことが重要である。

また、人口の定住においては、消費の場としての商業施設が整うこと、魅力的で安定的な就業の場が確保されることが、生活基盤を選定する上で必要な基礎的条件となることから、物、人など地域資源の有効な活用や特色を生かした取り組みにより、個性を明確にし、話題性のある地域づくりについて一層の連携を図ることとします。

本市を中心とする鳥取県中部地区の自治体や連携する意思を有する自治体で定住自立圏の形成に向け「集約とネットワーク」の考えを基本とし、都市機能、真に必要な生活機能の確保と圏域を活性化させることで人口の定住を図るという観点から自治体相互の役割を明確し、定住自立圏構想の3つの視点ごとに展開しようとする具体的な取組みは、以下のとおりである。

◆3つの視点ごとの具体的な取組み

ア 生活機能の強化	
◆子育て家庭における親の育児不安や負担感、孤立感を解消するための小児医療体制の構築や地域子育て総合支援センター等の支援施設の整備による子育てと就労が両立できる環境・支援体制づくり、介護、高齢者サービス、教育環境などの福祉、教育の連携やネットワーク化 など	
a) 医療	・小児医療体制の構築
b) 福祉	・子育て支援センター等の支援施設の整備 ・不登校、障がい、問題行動等のある児童の支援体制、拠点整備 ・介護、高齢者、保健施設の連携、支援体制の整備
c) 教育	・専門、技術系教育機関と連携した人材育成と優秀な人材の確保
d) 土地利用	・優良農地の確保、自然環境や生活環境に配慮した計画的な土地利用
e) 産業振興	・西倉吉工業団地など既存工業団地の再整備とオーダーメイド型内陸工業団地の整備、誘致の検討 ・地域の魅力や観光素材の商品化による新たな産業創出 ・国内を始め、国際的にもブランドとして認められる二十世紀梨など、豊かな農産物や海産物を素材として活用した6次産業の推進
イ 結びつきやネットワークの強化	
◆都市機能の利活用のために必要な生活路線バスのネットワーク化による生活圏域での利便性の向上、また、観光拠点施設の整備、地域資源・観光素材の発掘、磨き上げやその利活用による広域観光の推進、地域内外の住民との交流や移住定住の推進 など	
a) 地域公共交通	・生活路線バスのネットワーク化と乗継拠点の整備
c) 道路等の交通インフラ整備	・生活幹線道路網の整備
d) 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消	・生産者と消費者、加工業者等の連携による地産地消の推進と地域外の圏域との連携
e) 地域内外の住民との交流・移住促進	・体験型観光の商品化による地域外住民との交流や定住促進に向けた情報の集積 ・地域資源の利活用による地域内外交流と移住の促進
f) 上記のほか、結びつきやネットワークの強化に係る取組	・SNSを活用した地域情報の提供 ・CATVのネットワーク化による地域情報の共有
ウ 圏域マネジメント能力の強化	
◆観光や移住定住等の地域の魅力の創造や情報発信を行なうコーディネーターの設置、大阪事務所を活用した企業誘致の推進及び福祉、教育等の専門職員、相談員の人材育成、支援体制の整備、ネットワーク化等による圏域全体のマネジメント能力の強化 など	
a) 中心市等における人材の育成	・保育士、学校教諭、相談員等の資質向上のための研修会の開催と支援体制の整備 ・地域活性化支援員の育成
b) 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	・観光と移住定住の情報センターの設立による広域観光マネジメントやセールスを行なう人材の育成及び民間人材の登用 ・本市大阪事務所を拠点とした企業誘致活動 ・移住定住マネジメントの強化

※表中記号は要綱第5(2)④にある「連携する具体的な事項」との関連を示す。

4. 本市への通勤通学割合

①圏域内周辺自治体からの就業者及び通学者の状況

○通勤割合 (単位：人)

		常住就業者数	本市に従業する就業者数	割合
圏域内	三朝町	4,067	1,308	32.2%
	湯梨浜町	9,343	2,812	30.1%
	琴浦町	10,345	1,168	11.3%
	北栄町	9,051	2,386	26.4%
	周辺自治体計	32,806	7,674	23.4%

※平成17年国勢調査数値より

○通学割合 (単位：人)

		常住通学者数	本市に通学する通学者数	割合
圏域内	三朝町	315	216	68.6%
	湯梨浜町	822	472	57.4%
	琴浦町	826	360	43.6%
	北栄町	819	401	49.0%
	周辺自治体計	2,782	1,449	52.1%

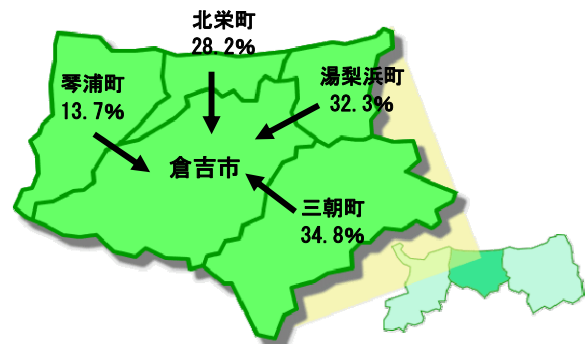
※平成17年国勢調査数値より

◆通勤通学割合 (単位：人)

		常住就業・通学者数	本市に従業する就業・通学者数	割合
圏域内	三朝町	4,382	1,524	34.8%
	湯梨浜町	10,165	3,284	32.3%
	琴浦町	11,171	1,528	13.7%
	北栄町	9,870	2,787	28.2%
	周辺自治体計	35,588	9,123	25.6%

※平成17年国勢調査数値より

圏域内周辺自治体からの就業者及び通学者の状況



本市に対して従業又は通学する就業者数及び通学者数を、常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値（以下「通勤通学割合」という。）は周辺自治体とも10%を超えており、琴浦町を除く3町についてはおおむね30%程度となっており、本市はこの圏域における教育、経済活動等の住民生活の中心的な役割を担っていることがうかがえる。

通勤通学割合が10%以上ある市町村
三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

②圏域外の市町村からの就業者及び通学者の状況（通勤・通学者が10人以上いる市町村）

◆通勤通学割合 (単位：人)

		常住就業・通学者数	本市に従業する就業・通学者数	割合
東部圏域	鳥取市	112,271	1,210	1.1%
	岩美町	7,129	23	0.3%
	智頭町	4,512	10	0.2%
	八頭町	11,512	44	0.4%
	4市町計	135,424	1,287	1.0%
西部圏域	米子市	80,654	262	0.3%
	境港市	19,231	27	0.1%
	大山町	11,068	177	1.6%
	南部町	6,807	14	0.2%
	伯耆町	7,222	11	0.2%
5市町計	124,982	491	0.4%	

※平成17年国勢調査数値より

圏域内の周辺自治体以外からの通勤通学割合が10%を越える市町村は存在しないことから、本市を中心市とした本市と周辺自治体による圏域は近隣市町村から自立した一つの圏域を形成している。